

工事用車両の走行ルートは、図6.2-5に示すとおり、以下の①～⑤のルートを想定しています。

- ① 都道町田調布線分合流部から都道町田調布線を経由し多摩東公園交差点（その後②③へ）
- ② 多摩東公園交差点から府中町田線
- ③ 多摩東公園交差点から南多摩尾根幹線
- ④ 稲城中央公園交差点から多摩3・3・28号（上谷戸大橋通り）
- ⑤ 稲城福祉センター入口交差点から南多摩尾根幹線

各走行ルートにおける工事用車両の現況交通量に対する割合は、最大で約5.5%程度（工事用車両352台/12h÷現況交通量6,397台/12h）となります。

標準区間については、工区のピークを分散させる等の配慮をしています。

トンネル等区間については、掘削工は昼間と夜間の作業を予定していますが、夜間作業時のトンネル掘削土は坑口部の施工ヤード内に仮置きし、土砂搬出の工事用車両は昼間の走行とします。

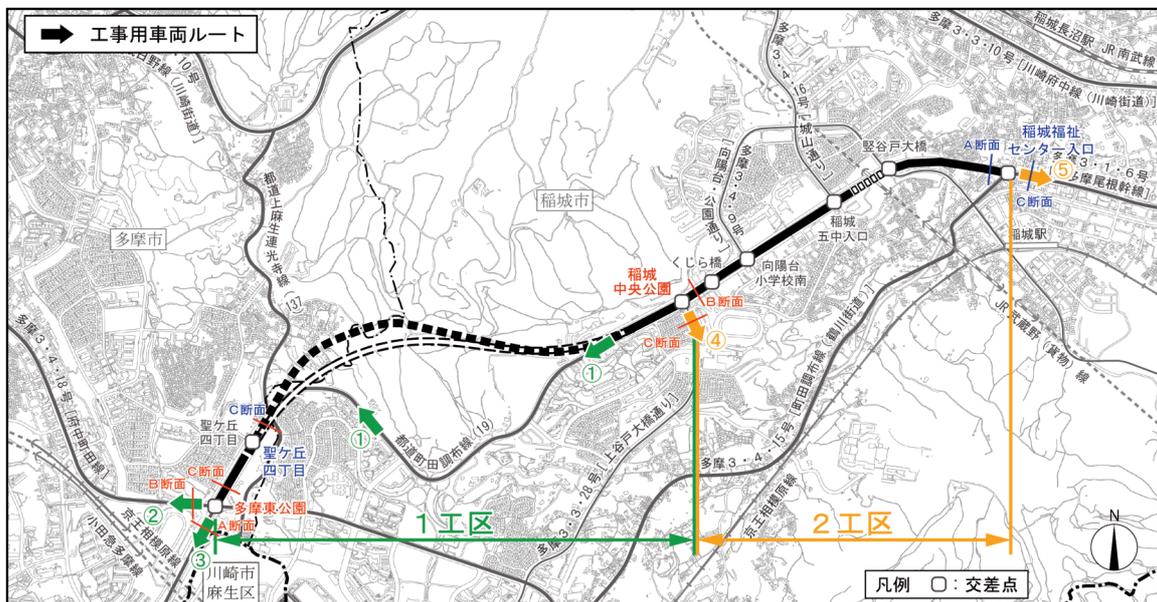


図6.2-5 工区割と工事用車両ルート①～⑤

(3) 主な建設機械

主な建設機械及び作業内容は表6. 2-3に示すとおりです。複数の作業を同一箇所で行うことがないように配慮した結果、同時稼働台数の最大数は、舗装工及びトンネル工における3台としています。

表6. 2-3(1) 施工内容及び主な建設機械(平面構造)

工種	作業内容	建設機械(規格)	稼働台数(台)	同時稼働台数(台)
土工	掘削・締固め	バックホウ(クローラ型)(平積0.6m ³)	1	2
		ブルドーザ(15t)	1	
擁壁工	仮設工	アースオーガ併用油圧入杭打機	1	2
		ラフテレーンクレーン(25t吊)	1	
	コンクリート擁壁工	コンクリートポンプ車(90~110m ³ /h)	1	2
		コンクリートミキサ車(10t)	1	
排水工・街築工	街渠、分離帯、植樹帯	コンクリートミキサ車(10t)	1	2
		バックホウ(クローラ型)(平積0.6m ³)	1	
	電線共同溝	バックホウ(クローラ型)(平積0.2m ³)	1	2
		ラフテレーンクレーン(25t吊)	1	
舗装工	路床・路盤(敷均し・転圧)	モータグレーダ(3.1m)	1	3
		ロードローラ(10~12t)	1	
		タイヤローラ(8~20t)	1	
	基層・表層(敷均し・転圧)	アスファルトフィニッシャ(2.4~6.0m)	1	3
		ロードローラ(10~12t)	1	
		タイヤローラ(8~20t)	1	